

重点研究課題の中間評価

目 次

I	検討の経過	1
II	評価結果	2
1.	重点研究目標別に見た重点研究課題の取り組み状況	2
	[高収益農業の推進]	
	(1) 内外競争に打ち勝つ品種開発と良質・低コスト安定生産技術の開発	2
	(2) 多様な農業経営の展開を支援するための試験研究	5
	(3) 農産物の品質制御・保持と新たな用途開発を目指した試験研究	6
	[クリーン農業の推進]	
	(4) 環境調和型農業、持続型農業の推進を支援するための試験研究	7
	[地域農業の振興]	
	(5) 地域農業の発展・振興を支援するための試験研究	9
	[基盤的研究の充実と情報化の推進]	
	(6) 実用技術の開発を促進するための基盤的試験研究	10
	(7) 的確な農業情報を提供するためのシステム化研究	11
	【小括】	12
2.	今後の重点研究課題推進に当たって検討すべき事項	14
	(1) 取り組みなどが遅れている重点研究課題の対応方向	14
	1) <高品質・多収を目指した品種・栽培技術>	14
	2) <省力・軽労働・効率化に向けた技術>	16
	3) <畜産関係>	19
	4) <農村環境及び経営>	20
	5) <流通・貯蔵技術>	21
	6) <その他>	25
	(2) 重点研究課題、技術開発目標の見直し	26
	1) 中止・統合を検討すべき重点研究課題	26
	2) 技術開発目標の見直し	26
	3) 重点研究課題の新設	29

III 総括	32
IV 参考資料	34
1. 重点研究課題評価一覧（様式1） 及び分野別評価一覧（様式2）における記入方法	34
2. 重点研究課題評価一覧（様式1）	36
3. 分野別評価一覧（様式2）	71
4. 見直し後の重点研究課題及び技術開発目標	80

(付帯資料) 農業統計を用いた北海道農業・農村の現状分析と将来予測

検討の経過	95
I 北海道農業・農村の現状	96
1. 日本農業に占める北海道農業の地位	96
2. 地域別にみた北海道農業・農村の現状	98
1) 統計分析の前提とした地域区分	98
2) 9地域の農業概況	99
3) 農家戸数の推移	101
4) 経営耕地面積の推移	103
5) 経営耕地規模の推移	105
6) 家畜飼養の推移	106
7) 農家人口の推移	113
3. 農家経済の状況	115
II 北海道農業・農村の将来予測	119
1. 農家戸数	119
2. 耕地面積・経営耕地面積・農家1戸当たり平均経営耕地面積	120
3. 乳用牛飼養農家戸数・農家1戸当たり平均乳用牛飼養頭数	126
4. 農家人口・高齢者比率	128
補論 コーホート・センサス間移動率法について	131
付表	137